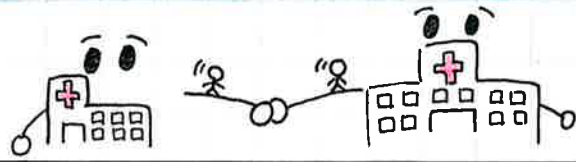


# 大きな病院とかかりつけ医の『連携プレー』



医療との関わり方新聞

発行者 宗像市立河東中学校  
8年5組  
吉武晴乃

あなたは「かかりつけ医」を持っていらっしゃるだろうか？  
そもそも「かかりつけ医」とは何だろう。総合病院のような「大きい病院」とは何が違うのだろうか。

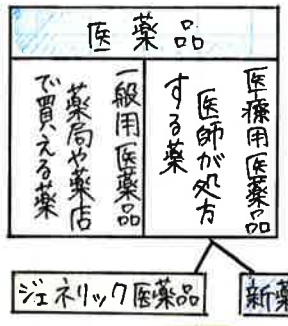
「かかりつけ医とは、体調が悪いと感じた時にまず相談する自宅近くの病院の医師のこと。患者さんの健康を長期にわたって管理し、身近にいて頼りになる存在だ。」

それに対して「大きな病院は大きな手術や検査ができる設備を備わっていてそれをを行う専門の医師がいる。しかし、普段の患者さんの健康を管理することは難しい。また、実際に受診する際も、担当医の外来がない日は診てもらえない。持ち時間も長くなり、救急の長〜1日がかりになりやすくなる。」

そこで重要なのが「大きな病院と「かかりつけ医」との連携プレーだ。専門的な検査や手術を受診する際には大きな病院で検査や手術を行う時間がかくなったり、救急の患者さんに対応できなくなったりする。だから、病状が安定したら全身の健康管理を含め、かかりつけ医に受診することによって一つの方法だ。」

けるには大きな病院で検査や手術の予約を入れることになる。その際、かかりつけ医からの「紹介状」があるとその後の流れがスムーズになる。また、大きな病院では専門分野に分かれて診療を行っているが、病状が安定している患者さんがたくさん来ると専門的な

「ジェネリック医薬品」って何？  
薬は医師が処方する。医療用医薬品」と、薬局や薬店で買える「一般医薬品」の2つに分けられる。さらに「医療用医薬品」は新薬（先発）



医薬品とジェネリック医薬品に分けられる。ジェネリック医薬品と新薬の違い  
有効性や安全性に違いはないが、ジェネリックな医薬品は医療費を抑制にもつなげている。  
また、ジェネリック医薬品は新薬の使用経験や情報をもとに開発するため研究開発費があまりかからず、新薬に比べて安いのだ。低価格抑制にもつなげている。

編集後記  
医療と上手に関わる  
現在、日本人の2人に1人がガンになるといわれている。ガンに限らず、いっ病気になるかわからないからこそ、今のうちに医療との関わり方を見直さなければならぬ。

歩数	予防できる病気
2000 歩	寝たきり
4000 歩	うつ病
5000 歩	認知症
7000 歩	ガン、骨折
7500 歩	体力の低下
8000 歩	高血圧
9000 歩	高血糖
10000 歩	メタボリックシンドローム
12000 歩	肥満

「1年の1日平均の身体活動からわかる予防基準一覧」

10分増やして病気予防!  
表は、1日の歩数から予防できる病気一覧。100歩増やすことで予防できる病気も増えることが分かる。国民健康・栄養調査で100歩10分とされているので、10分歩く時間を増やすことができます。未来の病気も予防できるかもしれぬ。ただし、歩まずには注意!